

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

飯塚 遼

1. 授業の概要(ねらい)

人々が生活するうえで欠かせない「食」をテーマとして、観光資源としての「食」の在り方とその背景にある歴史や文化、人々の暮らしとの関係について学ぶ。また、それらの学びを通じてフード・ツーリズムの楽しさや面白さ、そして重要性を、発表や記述など様々な手段を通じて人々に伝えることを目指す。「演習Ⅱ」では、複数のグループに分かれ、それぞれにフード・ツーリズムに関するテーマを設定して研究を進める。また、実際にフード・ツーリズムの現場において調査も行う。さらに、それらの活動を通じて適宜、(卒業)論文の書き方や研究発表の仕方などについても指導する。

2. 授業の到達目標

- ・観光資源としての「食」について理解し、説明できる。
- ・観光資源としての「食」の適正利用について解釈できる。
- ・プレゼンテーションとディスカッションのスキルを身につけることができる。

3. 成績評価の方法および基準

受講態度・作業への貢献度50%

プレゼンテーション50%

4. 教科書・参考文献

参考文献

菊地俊夫 2017. 『フードツーリズムのすすめ: スローライフを楽しむために』 フレグランスジャーナル社

安田亘宏 2013. 『フードツーリズム論: 食を活かした観光まちづくり』 古今書院

Everett, S. 2016. 『Food and Drink Tourism』 SAGE Publications

Hall, C. M., Sharples, L., Mitchell, R., Macionis, N. and Cambourne, B. 2003. 『Food Tourism Around the World』 Routledge

5. 準備学修の内容

現地調査に向けた事前準備。

プレゼンテーションの準備。

6. その他履修上の注意事項

グループでの研究が中心となるので、各自が責任をもち協力して研究を進めてほしい。

無断欠席は決してしないこと。やむを得ず欠席する場合は事前に連絡すること。

7. 授業内容

【第1回】 フード・ツーリズムから地域をプロモーションする

【第2回】 グループ分けとテーマ決め

【第3回】 現地調査に向けたグループワーク(準備段階)1

【第4回】 現地調査に向けたグループワーク(準備段階)2

【第5回】 現地調査に向けたグループワーク(準備段階)3

【第6回】 現地調査に向けたグループワーク(準備段階)4

【第7回】 研究テーマ中間発表

【第8回】 発表に向けたグループワーク(実施段階)1

【第9回】 発表に向けたグループワーク(実施段階)2

【第10回】 発表に向けたグループワーク(実施段階)3

【第11回】 発表に向けたグループワーク(実施段階)4

【第12回】 発表に向けたグループワーク(実施段階)5

【第13回】 発表に向けたグループワーク(実施段階)6

【第14回】 発表に向けたグループワーク(実施段階)7

【第15回】 最終発表会

※ 講義の受講者数や進行状況によって、計画が変更されることがある。